



くすねたん

如月号
Vol. 127
2015年2月

毎月20日発行

飲食店向け情報満載かわら版 毎月発行

発行人：藤本高司
発行所：フジモト株式会社

飲食店舗さま向けにかわら版を毎月発行します



梅花の候

2月19日は旧正月、中国では春節にあたります。沖縄では漁業が盛んな糸満市など旧暦でお祝いをする地域も残っています。観光客で賑わいを見せている公設市場でも旧正月用のお菓子など店頭を飾っています。沖縄の旧暦は中国の二十四節気が伝わり、村の祭祀は年中行事となり折目、節目の慣習として根付いています。存続の環境は厳しくなりましたが、大切に守り続けていきたいものです。

並べて覚える

広告社ぶれいん 竹田清人

■お店で使えるマーケティング用語集 第39語■

認知的不協和 と 選択盲

Cognitive dissonance vs. Choice blindness

■認知的不協和 (Cognitive dissonance)

キツネが森の中でブドウを見つけます。いろいろ工夫して採ろうとするのですが、あまり高いところにあるので届きません。結局、キツネは「あのブドウは酸っぱいさ。」と、あきらめてしまいます。

このイソップ寓話が認知的不協和(Cognitive dissonance)の例として良く出てきます。この「欲しいブドウ」と「採れない」という事実が認知的不協和です。ですから、認知的不協和は心の中の矛盾とか葛藤と考えても良いかと思えます。そして「あのブドウは酸っぱいさ。」が、この認知的不協和を解消する一言です。『人は認知的不調和があると、それを解消するように行動する』と、アメリカの心理学者レオン・フェスティンガー(Leon Festinger)は提唱しました。

この現象はいろいろな事態を引き起こします。キツネの例に戻りましょう。結果としてキツネは「ブドウが酸っぱい」と言う不確かな情報を流してしまうのです。レオン・フェスティンガーは実験を行っています。被験者に退屈な作業をさせて報酬を払い、彼らに新しい被験者を勧誘してもらいました。そのとき、報酬が少なかった人のほうが熱心に勧誘したと言うのです。彼らは「報酬が少なかったのに作業をしたのは、作業が面白かったからだ。」と認知的不調和を解決させたというのがレオン・フェスティンガーの主張です。

■選択盲 (Choice blindness)

2005年ごろにピーター・ヨハンソン(Petter Johansson)が研究をはじめたと言われていますが、その後スウェーデンのルンド大学で、ラルスハル (Lars Hall)が選択盲(Choice blindness)について、興味深い実験を行っています。その実験は、次のようなものです。

被験者に異性の写真を二枚みせて、好みの方を選んでもらい手渡す。この時、カードマジックの手法をつかって手渡す写真を逆にする。このあと、その写真を見ながら被験者に、なぜこの人が好みなのか理由を説明してもらう。すると多くの人がこの入れ替えに気が付かずして写真の人物を褒める。

俄かには信じられない結果ですが、選択と言うのは実はこれ位に根拠が不確かな場合があるのです。この選択盲(Choice blindness)はマーケティング上で非常に重要だと思われ、ショッピングセンターでもある実験が行われました。その実験では180人のお客様にジャムのテイストリングをしてもらい、美味しかったものについて感想を聞き取るというもので、これも最終的に講評してもらったジャムは入れ替えてしまうものだったそうです。この場合も極端な話、リンゴジャムを美味しいと選んだ人から、全く違うママレードのお勧めを聞くというようなことが起き、入れ替えられたのに気が付く人は少なかったそうです。

選択盲は、サービスの料理をお出しする機会などに、エンターテイメントとして利用できるかもしれません。

また、四月からは統一地方選挙も始まります。選挙の要は正しい情報と冷静な選択ですが、この様な罠があることを覚えておくのも良いのではないのでしょうか。

こーいちのグルメ散歩

食道楽散人 木村 幸一

♪さんぽ62♪ 類は友を呼ぶ

スポーツクラブに通いはじめてから、食べ物ともだちが急激にふえました。ある人は、居酒屋さんを相手にする魚屋さんを紹介してくれました。キロ6500円のクエはお買得と思うのですが、半身からなのでは多すぎます。キモのたっぷり入ったカワハギを刺身にしてもらいました。最高!!!

仲間をつのり、米をまとめ買っている人もいます。喜んで仲間に入れていただきました。今年は富山のコシヒカリです。精米5キロを1600円で手にいれています。新米がでるころ、つぎはどこに米にするか食べ比べて決めるとのこと。私にも一票の権利ができました。農家の友達からいただいた野菜を届けてくれた友達がいます。白菜、人参、サトイモ、ねぎ、大根などなどです。

その野菜の一部がこの写真です。

写真のりんごは500円もする大玉なのですが、白菜があまりにも大きくりんごが小粒にみえます。白菜は鍋、野菜炒め、味噌汁etc。食べきれないので漬物にしました。



大根は鍋、ブリ大根、黒砂糖でブタバラとの炊き合わせ、マーボー大根も作ってみました。ねぎは丸ごと焼き、こげた皮をむき、頭からいただきました。金目と牛蒡は炊き合わせの定番ですが、今回は牛蒡の代わりにネギを使いました。96歳のカミサンの母親もなんなく食べられました。次回は焼いたネギを使い、マーボネギを作ります。類は友を呼ぶのは事実ですが、これ以上輪を広げると野菜に漬かれそうです。

リテールテックJAPAN 2015出展いたします!

外食業様向け専用開発したビッグデータ解析ツール『StarBoard intelligence』を出展いたします。ビッグデータを経営資源とする時が来ました!!!

日時：2015年3月3日(火)~6日(金)
会場：東京ビッグサイト(弊社ブース：東2ホール RT1520)
入場方法：チケット制



発行所 フジモト株式会社 <http://www.fujimoto.co.jp>
〒166-0011 東京都杉並区梅里1-7-7SKTビル2F TEL:03-5378-6830 FAX:03-5378-6823